



八月便り

お盆です。人は先祖を供養し、仏前で自分が生きて来たことの確認とか、生かされていることへの感謝とか、そんな思いに浸るひとときが、お盆というものでしょう。人は晩年になるほど、心が満たされ安らぎを感じたいものです。それが人の幸せだと思います。悟りを開き、行いを正し、やがて来る終焉を、心穏やかに待つことが大切な気がします。でも、その間に何もしていないのではなく、出来る事を少しでもやり遂げておく事も大切ではないでしょうか。年齢は関係ありません。いくつになっても、やれる間は社会のために尽くすべきだと思いたいですね。もちろん、自分の為でもあります。これを「人生の再就団塊」といいます。じゃあこれからはどうするの？ やはり、きつと、病院も、お墓も満員なんだろうなあ。でも、誰も同情なんかしてくれないよ。だからさあ、何をやるかって？ 例えばそれは



老老介護ですよ。これからは、自分たちの世代が、自分たちを介護するのです。少しでも健康で、頑張つて出来る事をする。多分、これからの日本は、介護を受けるような人までもが他人を介護する時代になる、そう思つたら、皆さんはとつても幸せじゃないですか。今はまだ介護してくる人がいるから。神様、介護スタッフ様です。さて、お盆の話に戻りますが迎え火に乗つて再会を果たし、送り火に乗せて祈りをささげる。天の御霊よ、どうか安らいでくれと、地に生きる者たちよ、どうか幸せでいてくれと、生者の幸福は死者の安寧！ 合掌・・・これは以前に書いた事ですが、それを訂正するエッセイも書きました。この世の出来事、儀式、慣習、すべてはこの世の話ですから、あの世があるという前提で言えば、あの世の事は全く分からないという事です。私達は、神様に修行に出され、苦勞の中で人生を全うしようと、日々生きています。生かされているわけです。しかし、この世の出来事、想像は、

実は、あの世では全く別次元、つまりこれも前に言いましたが、あの世に行つたあの人、空から私を見ていてくれる。そう思いたい気持ちは分かります。しかしそれはこの世の考えで、あの世に旅立つた人は、あの世の新しい世界の中にいる。そう思うべきであり、それがあの人々の幸せなのだと思いませんか？ いいえ、どう思おうとあなたの自由です。だからこそ、お盆が来たらこの世で一緒に過ごしたあの人を思つて祈るのです。

平成28年		8月のケイズファミリーデイサービス	
8/1(月) ～ 8/6(土)	★的あてゲーム 5日(金) ハワイアン演奏会 懐メロ音楽療法 リハビリ体操&頭の体操		
8/8(月) ～ 8/13(土)	★ボーリング 11日(木)・12日(金) ケイズ夏祭り 懐メロ音楽療法 リハビリ体操&頭の体操		
8/15(月) ～ 8/20(土)	★点取りゲーム 18日(木) フラダンス 懐メロ音楽療法 リハビリ体操&頭の体操		
8/22(月) ～ 8/27(土)	★玉入れゲーム 懐メロ音楽療法 リハビリ体操&頭の体操		
8/29(月) ～ 8/31(水)	★チーム対抗ゲーム 懐メロ音楽療法 リハビリ体操&頭の体操		

